

新峪堰改築事業について その1

【事業概要・必要性等】

峪堰は、防府市街地の上流部に位置しており、右岸から越水した場合は、ほぼ海岸線まで達し、山口県の中央に位置している人口約12万人の防府市街地に膨大な被害を与える。山口県東西を結ぶ国道2号及び防府市と県庁所在地山口市を結ぶ国道262号等の交通網は寸断され、人々の日常生活に及ぼす影響は計りしれない。また、防府市には、協和発酵、マツダ、鐘紡、プリジストン等の企業があり、山口市方面からの通勤者も多数おりこれら企業に与える影響も大である。

峪堰は固定堰で、河積阻害率が57%と高く、昭和28年度設置（55年経過）と老朽化も進み、構造物の安全性にも不安がある。また、金波堰も防府市街地直上流にある固定堰で、河積阻害率も47%と高い。当該箇所は防府市街地に影響を及ぼす区間では最も流下能力の低い箇所であった。

このため

平成15年度「特定構造物改築事業・新峪堰改築事業」として事業承認を受け着手。

事業内容

事業期間：平成15年度～平成19年度

総事業費：約50億円

整備内容：峪堰直下流に可動する新峪堰（以下 上右田堰）を建設し、既存の峪堰・金波堰を撤去することで河積の拡大を図る。また、金波堰をへ統合することにより金波用水路の延伸を行う。

その他、峪堰から金波堰間の護岸整備、河床整正を併せて実施。



事業工程	事業工程				
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
新堰本体	■	■	■		
取水樋門				■	■
用水路			■	■	■
道路の付替				■	■
堰堰の撤去					■
金波堰の撤去					■
事業費(百万円)	1,048	1,652	1,051	593	673

新峪堰改築事業について その2

あたらし かけぜき こうじ ないよう 新しい峪堰の工事内容です



事業の目的は…

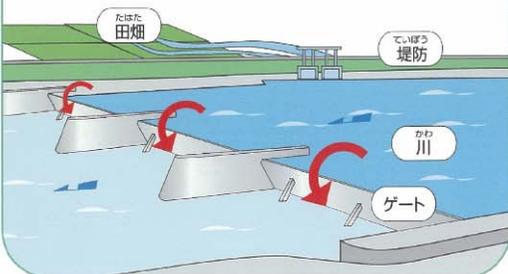
現在ある堰は、洪水時に水を流れにくくしているため、2つの堰をいっしょにして新しい堰にする工事です。また、古い堰と取水口はとりのぞき、新しい取水口や用水路、堤防をつくり、あわせて道路のつけかえを行います。



動く峪堰



堰は川の水をためる構造物です。新しい峪堰に設置される転倒式ゲートは、ゲートの高さ調節が簡単であるため、通常時は水位を一定に調節し、洪水時は倒して水を流れやすくします。



あたらし しゅすいくち せつち
新しい取水口の設置

かけぜき
峪堰のとりぞき

あたらし かけぜき せつち
新しい峪堰の設置

ようすいろ せつち
用水路の設置

かんせい 完成するとこのようになります

ぎよどう 魚道



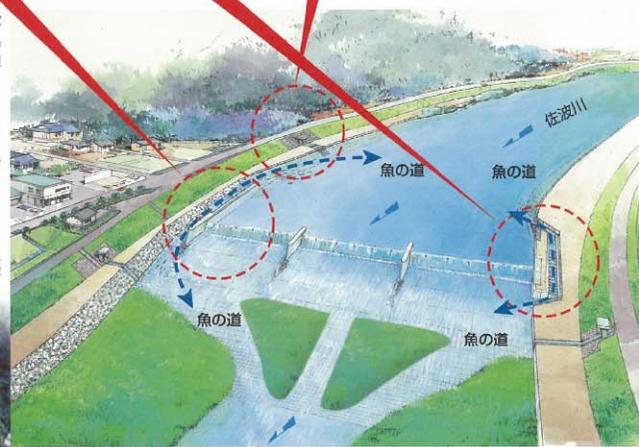
魚やカニ、その他の水生生物が上下流に行き来するための通り道です。

アイスハーバー式魚道は、アメリカのアイスハーバードアムで初めて採用されたことから、この名がついています。粗石斜路式魚道は、自然石を張った水路です。

しゅすいひもん しゅすいくち ようすいろ 取水樋門(取水口)と用水路



取水口を取水樋門と呼び、とり入れた水は用水路を通じ、下流の田畑に送られます。



さばかわ しぜん
佐波川には自然がいっぱいあります。自然となかよくする工事です



きんなみせき
金波堰のとりぞき